

第 203 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 30 年 12 月 11 日 (火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

1、恵比寿十四株式会社 代表者 齋田 和夫 氏 (<http://www.lilipeer.com/>)

【住所】東京都中央区銀座 7-13-6 サガミビル 2 階【設立】2014 年 4 月【資本金】10,000 千円

【事業概要】『リリア』は、世界初の O2O にも使える商品・サービス等の案内に特化した AR アプリで、QR コードを進化させた体験を提供し、「リアルな世界をネットの入口にする」がミッションです。世界的なユニコーン企業となることを目指します。『リリア』は、チラシやパンフレットやパネル等で興味を持ったユーザーを、カスタマージャーニーを途切れないようにスマートフォンに繋げ、企業様の情報案内やプロモーションに活用できます。商品画像を『リリア』で撮影して、商品動画を見せ、アンケートや応募をしたり、詳細ページやショッピングページにリンクすること等ができます。ご当地アイドルと川崎地区郵便局の年賀状コラボ企画で、『リリア』は川崎市内 96 郵便局に掲示される告知ポスターと当選者に発送される年賀状で採用されました。タウンニュース/神奈川県と多摩の地域情報紙 <https://www.townnews.co.jp/0206/2018/11/09/456726.html>

【コメント】齋田社長は電通出身でデジタルとコンテンツ企画の専門家。『リリア』は情報を探したりする必要がなく、興味を持った写真やイラストから撮影するとダイレクトにその内容を見ることが出来る、とてもシンプルなアプリです。将来的には日本国内売上 1000 億円以上、世界売上 1 兆円のユニコーン企業を目指し、IPO も視野に入れておられるそうです。

2、株式会社ミライエ 代表者 島田 義久 氏 (<http://www.miraie-corp.com/>)

【住所】島根県松江市矢田町 250-167【設立】1972 年 1 月【資本金】79,000 千円

【事業概要】< 製品の特色 > 当社は堆肥化設備や脱臭装置の開発をおこなう企業で、従来の 4 倍以上の悪臭除去効果を持つ新しい脱臭技術を商品化、販路拡大を目指しています。鳥取県が開発した「発泡ガラス式脱臭法」は、無数の気泡が空いた特殊なガラス基材に微生物を定着し、アンモニアなどの悪臭を高効率で分解、脱臭する技術で、従来の微生物脱臭法と比べて 4 倍以上の高い除去効果を誇ります。当社はこの技術を実用化し、これまでゴミ処理施設や大手製紙工場などに納入してきましたが、今後は遠隔制御型のユニット型製品を開発し、新たな市場を開拓したいと考えています。本製品の開発に伴い、資金調達及び生産体制にかかわるパートナーを募ります。

< 事業概要 > 堆肥製造設備、脱臭装置の開発、販売、施工

【コメント】脱臭・消臭製品の市場規模は 1500~2000 億円あると予測されており、そのうち半分程度が産業用になります。簡単に言うと同社の装置は『微生物脱臭』になります。従来の装置よりも初期導入コストを安く押さえることが出来、基材の寿命が長く、メンテも不要になり、電気代も大幅に下げることが出来るそうです。



3、株式会社日本テクノリソース 代表者 朝比奈 正 氏

【住所】東京都豊島区南池袋 2-49-7 池袋パークビル 1F【設立】1984 年 9 月【資本金】30,000 千円

【事業概要】① 内容・特色: 理論とシミュレーションにより、IoT & ビッグデータ用の独自符号型データ通信方式 CPS の開発に成功し、主要国で国際特許を取得できました。CPS は、単独での通信距離の拡大と高速のデータ伝送が可能な、調査の限りでは世界で唯一の技術ですが、MIMO やビームフォーミングとの組合せで、相乗的に一層の高速化や通信距離の拡大が可能です。CPS 専用システムとして、又、殆どの従来の通信方式に導入して CPS & 従来方式ハイブリッドシステムとして、IoT やビッグデータの主要通信方式になり得るものと期待されます。

② 背景: 2020 年には 500 億個の端末の接続、2030 年には 400 兆円超の市場規模との予測もある IoT、年間 1 兆個のセンサの消耗を謳う TSensors、ビッグデータ通信等の普及により発生する深刻な周波数不足を回避するため、周波数の利用効率改善やミリ波帯の開発が急務であり、その為に、通信距離の拡大と高速のデータ速度を齎す新技術が不可欠となっています。CPS は、高速性、距離拡大、省電力化によりこうした要求に応え得る強力な技術といえます。

③ 今後の展開: 早急に試作しフィールドでの実証を行うための準備を進めています。又、CPS のデファクトスタンダード化及び国際標準化を目標に、企業・公的研究機関との連携、国内外の IoT デバイス・メーカ & IoT キャリアとの連携、コンソーシアム化の検討を進めています。

【コメント】無線通信によるデータ量は日々増大しており、この技術はより高速通信に適したアルゴリズムを理論提案するものです。まずフィールドでの実証実験の実施が重要で、良い結果を期待しています。将来の普及に向けては、その実証結果を踏まえた新たな通信機器、半導体システムの構築も望まれるところです。

4、スタイル・ジャパン・アソシエイツ合同会社 代表者 町田 佳子 氏 (<https://yokohamawinery.com/>)

【住所】神奈川県横浜市中区山下町 1 番地 10 階【設立】2016 年 9 月【資本金】1,000 千円

【事業概要】日本ワインの果実酒製造業

・特色: 2017 年 11 月に酒類製造免許を横浜市で初めて、神奈川県でも「日本ワイン」分野で初めて取得し、果実酒の醸造・販売を開始しています。日本で最小かつ一番海に近い都市型ワイナリーとして注目を集め、メディアでも多数取りあげられています。ワイナリーの特徴は、生産者と消費者がつながることであり、食について考えるきっかけづくりをワインを通して提供する地域経済・社会貢献性の高いビジネスモデルです。

・今後の展開: 現在は県外からのブドウ調達に頼っていますが、市内(県内)農園での自社栽培を可能にすることで、耕作放棄地活用や農業従事者の高齢化解消を目指しながらの食のもののづくりを展開していきます。

【コメント】このクラフトワインの名称は『ハマワイン(単価 2,500 円)』。今後は葡萄を原料とするワインだけではなく、リンゴを原料とするシードルもラインナップに加えて、醸造所を拡大するとともに横浜の食材を取り入れたレストラン事業にも展開していきたいそうです。来年早々にでも株式会社化を行って、本格的に稼働していく予定だそうです。



☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

★1 月はお休みですのでご注意ください★

第 204 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時: 平成 30 年 2 月 12 日 (火) 13:30~16:00

■会 場: 学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階

《感想》今年最後にベンチャー会員企業である筑波精工社が東京証券取引所 Tokyo Pro Market 市場に上場するという朗報もございました。来年も様々な分野で注目されている企業にご登壇頂ければと願っております。少し早いですが皆様、良い年をお過ごし下さい。

NPO 法人ベンチャー支援機構
MINERVA
(株)TNP パートナーズ
(株)TNP オンザロード
井 汲 美 樹